

深沢区域における公共交通実証実験（タクシー利用補助）に係るアンケート調査の概要

1. 調査の目的

- (1) 公共交通空白地域における住民の移動支援と生活の質の向上の確認
- (2) J R 五日市線等既存の公共交通の利用促進に向けたフィーダー交通としての有効性の検証
- (3) タクシー利用補助の有効性と課題の検証

2. 調査方法

- ・補助対象者 43 人への郵送配布・郵送回収

※ご夫婦など 1 世帯に補助対象者が 2 名以上いる場合でも、運転免許保有有無等により利用状況や感想等が異なると考えられることから、個別に調査する。

3. 調査時期

令和 2 年 1 月 30 日（木） 発送

令和 2 年 2 月 10 日（月） 回答（投函）〆切 ※留置期間約 2 週間

4. 調査概要

(1) 利用状況

- ・実証実験期間中における利用回数（問 1）
- ・補助券を利用していった場所及びこれらのうち、最もよく利用した区間（問 2）
※利用時期、乗降区間の詳細については、補助券裏面にタクシー乗務員が記入した記録から別途集計する
- ・複数人での利用の有無（問 3）及び補助券の複数枚利用（問 3-2）
- ・補助を利用しなかった理由（問 1-2）

(2) フィーダー交通としてのタクシー利用

- ・補助券を活用してタクシーで武蔵五日市駅等へ行き、そこから他の公共交通機関への乗継の有無（問 4）
- ・乗り継ぎした場合の利用交通及び目的地（市町村等）（問 4-2）

(3) 補助有無による変化

- ・補助を活用することによる日常生活の変化（問 5）
全 19 項目
- ・その他今回の補助により生活が良くなったと感じる点（自由記述）（問 6）

(4) 補助の有効性や課題

- ・今回のようなタクシー代の補助は、深沢区域を含む市内の公共交通空白地域にとって有効だと思うか（問 7）及びその理由（自由記述）（問 7-2）
- ・今回の補助内容（1 月あたり 4 枚）の妥当性（問 8）
- ・今回の補助内容（1 回 500 円）の妥当性（問 9）

- ・ 今後に向けての改善点（問 10）
- ・ 補助本格導入時の利用意向（問 11）

（5）その他

- ・ あきる野市における今後の公共交通利用環境充実に向けて思うこと（自由記述）（問 12）

（6）回答者属性（問 13～17）

- ・ 性別、世帯構成、運転免許の有無、同居家族の運転免許有無、自家用車等の保有台数